

医療安全全国共同行動

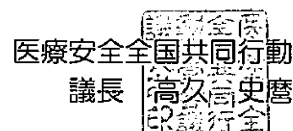
連絡先 (e-mail) secretariatpartners@kyodokodo.jp

〒420-0949 静岡市葵区与一 4-1-1 静岡県立こころの医療センター内

電話 054-251-8727 FAX 054-251-8728 URL <http://kyodokodo.jp/>

平成 24 年 10 月 吉日

兵庫県 健康福祉部
部長 太田 稔明 様



拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

医療安全全国共同行動“いのちをまもるパートナーズ”は、全国の医療機関と医療従事者、医療団体が 8 つの安全目標を共有し、力を結集して取り組むことで、医療の質・安全の向上をめざす取り組みが広く全国に普及し、目に見える成果を達成し、医療に対する患者・市民の信頼を高めることを目的として 2008 年に発足いたしました。第 2 期共同行動(2011-12)では、診療所にも参加を呼びかけ、地域医療の安全向上をめざしています。これまでの活動をホームページ (<http://kyodokodo.jp/>) でご案内していますのでご高覧を賜れば幸いに存じます。

このたび、来る 11 月 25 日(日)に大宮ソニックシティにおきまして医療安全全国フォーラムを開催いたしますのでご案内申し上げます。ぜひ貴県の医療安全ご担当者様のご参加をお願い申し上げますとともに、県下の病院にご案内を賜れば幸甚に存じます。

ご多忙のところ恐縮に存じますが、格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 会の名称： 医療安全全国フォーラム
2. 開催日： 平成 24 年 11 月 25 日(日)
3. 会場： 大宮ソニックシティ <http://www.sonic-city.or.jp/>
 - ・午前の部(シンポジウム) 9:00-11:45 小ホール(ホール棟 1 階)
 - ・午後の部(分科会) 13:00-15:00 市民ホール(ビル棟 4 階)
4. 主催： 医療安全全国共同行動
5. 後援： 厚生労働省、全国知事会
6. 参加費： 2000 円 (会場受付にて)

* 貴県の医療安全ご担当者様のご出席をいただけます場合は、別紙にてお知らせいただき、当日「招待者受付」にお越しいただきますようお願い申し上げます。

【お問合せは下記までお願いいたします】

医療安全全国共同行動事務局 E-mail: secretariatpartners@kyodokodo.jp

電話: 054-251-8727 FAX: 054-251-8728

〒420-0949 静岡市葵区与一 4-1-1 静岡県立こころの医療センター内

医療安全全国フォーラム

医療安全の向上をめざしてご尽力されている多くの方々にご参加いただきますようお願い申し上げます。

- 日時： 2012年11月25日(日) 9時-15時
- 会場： 大宮ソニックシティ/小ホール(ホール棟1階) & 市民ホール(ビル棟4階)
◇ 埼玉県さいたま市 <http://www.sonic-city.or.jp/modules/access/>
- 主催： 医療安全全国共同行動
- 後援： 厚生労働省、全国知事会
- 参加費： 2000円
 - ◇ 共同行動ホームページ <http://kyodokodo.jp/> からお申し込みください。
 - 当日参加も可能です。
 - (分科会は席数に制約がありますため申込先着順とさせていただきます。)

【プログラム】(敬称略)

午前の部 9:00-11:45 (小ホール)

- 開会の辞 高久史磨 (医療安全全国共同行動議長)
- ご挨拶 厚生労働省
- パネル討議「安全な医療システムの構築をめざして—共同行動に期待すること」
 - 高杉 敬久 (社団法人日本医師会 常任理事)
 - 溝渕 健一 (社団法人日本歯科医師会 常務理事)
 - 松月 みどり (公益社団法人日本看護協会 常任理事)
 - 本間 崇 (公益社団法人日本臨床工学技士会 副会長)
 - 神原 啓文 (公益社団法人静岡県病院協会 会長)
 - * 司会 上原鳴夫 (医療安全全国共同行動企画委員長)
河野龍太郎 (医療の質・安全学会理事)
- ◇ 特別報告「診療所の安全対策の現状と課題」
 - 石渡 勇 (茨城県医師会副会長)
 - 松尾 亮 (京都府歯科医師会医療安全常務理事)
- ◇ 討議総括 高久史磨 (医療安全全国共同行動議長)

午後の部 13:00-15:00 (市民ホール)

- 分科会 「9つの目標を達成しよう」
 - どうやって変化をつくり出すか? 取り組み事例の紹介と討議
 - A (第2会場) 安全な手術(目標S)、肺塞栓予防(目標2)、迅速対応(目標6)
 - B (第3会場) 誤投与防止(目標1)、事例分析から改善へ(目標7)、患者参加(目標8)
 - C (第4会場) 危険手技(目標3)、感染対策(目標4)、医療機器・人工呼吸器下ケア(目標5)